



認知症作業療法 活動報告 (概要)

宮城県における認知症OT推進は、地域包括ケアシステムに参画し活躍できるOT育成を目的として立ち上げた「地域支援部」の「認知症の方の生活支援推進チーム」で担当している。今年度は、昨年度に引き続き①研修会の開催、②認知症初期集中支援事業への参画、③認知症カフェの運営、④他団体主催のイベントでの認知症OTの啓発を軸に取り組んできた。今年度は「地域で認知症の方の生活を支える為の仕組み・ネットワーク作り」を目的に、多職種や作業療法養成校の学生にも協力要請、研修会開催や地域支援活動に取り組んでいる。

認知症初期集中支援研修会「認知症の人の自立を支える作業療法～当たり前の、自由な、その人らしい暮らしを支えるとは?～」

仙台市認知症初期集中支援チーム員の医師・訪問看護ステーションに勤務しているOTを講師にお招きし「認知症初期集中支援研修会」を開催、19名の作業療法士が参加した。地域で認知症の方の生活を継続的に支援するための視点を、講義・事例を通じて学んだ。今後第2弾となる研修会を開催予定。また、宮城県士会地域支援部主催の「人材育成研修システム」に位置づけた研修会を開催予定。出張出前講座のような形で各ブロックの研修会においても講義を行う予定。



研修会案内チラシ

認知症初期集中支援事業への作業療法士参画推進

仙台市の依頼をうけ、2018年4月より5名のOTを派遣、仙台市5区に各1名のOTが配属となっている。1チームは診療所委託、他4チームは市の直営となっている。昨年度より徐々に訪問事例が増えはじめ、今年度は上半期のみで昨年度の訪問件数を上回りつつある。仙台市では「認知症の方が地域で穏やかに自分らしく暮らし続けられる」を目的とした取り組みを今後も展開、OTへの期待も高まっている。また、他市町村でもOTが事業に参画しており、今後も情報収集を進めていく。



仙台市初期集中支援チーム員会議

認知症カフェへの運営

認知症の人と家族の会（当時の代表者）からの依頼を受け、薬局薬剤師と共に当県士会員がボランティアとして参加していたが、今年度から仙台市薬剤師会と宮城県作業療法士会の共催という形で運営に関わるようになった。「認知症の理解を深めるための認知症ミニ講話」「専門職による講話」「健康体操」「(季節に合わせた)作業活動」や、参加者にも講師を依頼し、脳トレなどのレクリエーションも行っている。また、今年度より近隣の養成校にも協力要請、学生ボランティアにも毎月参加してもらい和気あいあいとした雰囲気で開催している。



仙台市認知症カフェ

他団体主催のイベントでの認知症OT啓発

薬剤師会主催「もの忘れフォーラム」やRUN伴に参加。フォーラムでは、OTや認知症の方の生活の工夫等についての紹介を行った。

今後の展開

県士会員のみならず、多職種・OT学生とも協働し事業へ参画すること、県士会員に向けた認知症OTの普及・啓発・人材育成を目的とした

- 研修会の開催
- 認知症初期集中支援チームへのOT参画推進と各市町村の実態把握の継続
- 認知症カフェの運営継続・協力メンバーの増員
- 各種イベントでの認知症OT啓発活動の継続



宮城県RUN伴2019